



第7回CPC

大量下血を来たした難治性 悪性リンパ腫の1例

開催日：平成20年4月16日(水)

時間：17:30～19:00

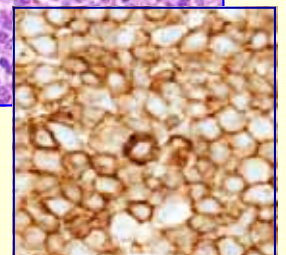
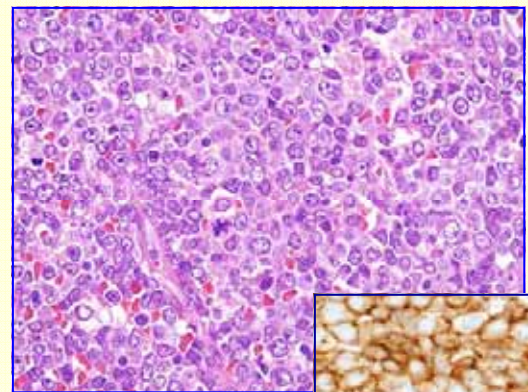
場所：病院本館C41講義室

関連科：血液免疫内科、消化器内科、消化器外科、整形外科、形成外科、がん治療センター、臨床病理

司会：森本 茂人 先生（高齢医学）
中島 日出夫 先生（腫瘍治療学）

ミニレクチャー：不動 政代 主任（感染対策室）

症例：80歳代 男性
現病歴と経過：血性鼻汁を伴う鼻腔内ポリープ様病変と頸部リンパ節の急激な腫脹で発症し、CD5陽性のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫と診断された。再発を繰り返し、照射・化学療法が行われたが、1年9ヶ月後、下血を認め、偽膜性腸炎が疑われた。抗生剤を内服するも下血は軽快せず、永眠された。
(詳細は当日配布)
右図はリンパ腫のHE像とCD5の免疫染色像。



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は感染対策室の不動政代主任のミニレクチャーを予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部（内線 5348）